

## 設楽ダム連続公開講座

## とよがわ流域県民セミナー（カワセミ）

## 第6回 第二部 開催計画（案）

担当委員：蔵治・原田

## 1. テーマ

「愛知県土地水資源課、東海農政局と異なる視点からの水需要・水供給について」

設楽ダム計画による新規水資源開発の容量は約 1,300 万立方メートルで、水道用水が 0.179m<sup>3</sup>/s、農業用水が 0.339m<sup>3</sup>/s となっています。セミナーの第一部では、上記数字の根拠について、豊川水系における現在の水需要および水供給がどのようであり、将来どのようになると考えているのかを踏まえた、県および国の見解について解説していた。豊川水系の水需要および水供給について理解することを目的としています。

それを受けて、第二部では、愛知県土地水資源課および東海農政局と異なる視点からの水需要および水供給についての意見を解説していただくことで、愛知県土地水資源課、東海農政局による解説の位置づけを、より広い観点から理解することを目的とします。

## 2. 開催概要

日 時： 2013 年 8 月 3 日（土） 午後 1 時から午後 4 時半まで

場 所： 愛知大学豊橋キャンパス「記念会館」小講堂（豊橋市町畑町 1-1）

内 容：

講師 1：愛知県土地水資源課、東海農政局と異なる視点からの水道用水、工業用水、農業用水の需要および供給についての見解（60分）

（水道用水、工業用水の需要予測、最近 2/20 渇水年の供給量、農業用水の需要予測、豊川用水の供給量の評価 など）

講師 2：愛知県土地水資源課、東海農政局の見解と、講師 1 の見解の何が異なっているのかの解説（20分）

休憩・質問票記入（20分）

ディスカッション（110分）